

総務文教常任委員会

小・中学校 新設検討？

小・中学校新設については、小学校が平成27年、中学校が平成32年をピークに児童・生徒は減少との調査結果が出ていることや、財政状況を踏まえ検討している段階。どの学校も給食施設の対応が急がれる。学年ごとに交代制にするなどの提言を行なっている。

補助金などの 適正化

補助金等検討委員会より、補助金が既得権化しているとの提言。当委員会では、町民の理解が得られるものに改める必要があると要請。補助金交付の再構築を断行すべき、ゼロベースで見直すべきとの意見も出された。

あと一年 行財政改革

10月時点で、累積効果

見込み額17億2千万円、あと一年で最終目標26億円には、約8億8千万円削減が必要。

来年度以後、歳入の身の丈である90億円程度で、予算編成ができるよう行財政改革を進めるよう要請。

中央小学校の校納金 システムを構築

着服事件後、校納金収納システムが構築された。なぜ今までできていなかったのか、積立金の流用はしないことなどを盛り込む必要がある。



▲おいしい給食をいただきます。(中央小学校)

厚生常任委員会



▲学童保育所

けて準備を進め、3月設立總會予定。連合会移行を契機に子どもの立場に立った指導のあり方を提言。

後発医薬品を 普及促進

医療費適正化計画の目標数値は、内臓脂肪症候群の特定健診や保健指導の実施と、その結果として該当者や予備軍の減少率10%以上を目指す。2点目は、平均在院日数34.7日。療養病床数は1万5500床。

医療費適正化の取り組みとして、後発医薬品の普及促進。

無保険状態の子ども(町内4世帯6人)の救済。地域生活支援に障害者の就職支援金制度が活用されるよう情報提供の工夫をすることを提言。

学童保育が連合会移行決定。準備委員会では、役員、業務規則の協議をし、事務局の場所の確保に向

保育園民営化の 課題

別府つくし保育園で、保護者109全世帯に対して民営化後の様子をヒアリングする。(希望者16世帯、不参加93世帯)希望者の個別ヒアリングの結果は、ほとんどが変わってよかったとの意見だった。

第三者評価については検討中。

学童保育連合会 設立

4学童保育が連合会移行決定。

準備委員会では、役員、業務規則の協議をし、事務局の場所の確保に向

町の重要な問題を 委員会

調査・研究 報告

建設常任委員会

可燃ごみ収集料改定 (継続審査分)

ゴミ減量意識の高揚、費用負担の公平性、財政状況の悪化などのため、大袋を30円↓50円に、中袋を18円↓30円に、小袋を13円↓18円にする。他町の状況は、大袋が宇美町50円、須恵町50円、古賀市、新宮町60円、篠

栗町40円。クリーンパークわかすぎの処理費用の推移、財政状況などを勘案し、今回の改正はやむを得ないとの結論に達し、全員賛成で採択。

炭鉱跡地基盤整備 事業の進捗率80%

生涯学習課と協議しながら斜坑付近の整備を

水洗化進む 公共下水道

進めている。この事業に対し、県産炭地域活性化基金より90%の助成がある。処理区域内人口3万3246人に対し、水洗化人口3万1411人。水洗化率94.5%。上下水道とも年末年始の事故防止に万全を期すよう要請。



▲家庭から出された可燃ごみ

議会運営委員会

議会基本条例を調査研究

志免町議会基本条例策定について各委員の意見として、①議員同士の討議の必要性 ②これからの議会がどうあるべきかを考える ③条例をつくることは非常に意義がある ④議員の役割、町民と議会の関係、議会改革の方向づけ ⑤志免町独自の条例をつくるべきなどの意見があり、全員賛成で調査項目に入れることを決定。策定に向けて調査研究を開始する。

議会広報特別委員会

議会広報クリニックで 高い評価を受ける

12月3日、福岡県町村議会広報研修会で、「第50号しめ議会だより」が、読みやすく、分かりやすいという評価を受けた。



福岡県町村議会広報研修会

福岡都市圏広域行政 調査特別委員会

障害者の就労支援について調査・研究

他の自治体においても障害者の就労支援は切実な問題。今後、広域的な取り組みについて調査、研究を行なう。

また、福岡市を含めた都市圏での広域的な施策の調査、研究を行なうことの合意形成を改めて行なった。